

II 目標推進のための具体的な取組

1. 基本目標の設定
 2. 推進目標と各課の取組
 3. 美幌町教育委員会組織機構
- 推進目標 1 未来と夢を創る人を育てる
- 推進目標 2 ふるさとの魅力を受信・発信
- 推進目標 3 多様性を尊重した学び
4. 本計画の評価方法

一
本計画の概要

二
具体的取組

三
情報提供

＜
学習環境

＜
取組経過

資料編

1. 基本目標の設定

第7次計画では、本町の最上位計画である「第6期美幌町総合計画」における教育分野の目標であり「美幌町教育大綱」の基本目標でもある「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくりの実現を目指して」を基本目標として設定しました。

「第6期美幌町総合計画」の期間が令和8年度までとなっていることから、本計画においては、第7次計画において定めた基本目標を引き継ぎます。

●基本目標

「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」の実現を目指して

2. 推進目標と各課の取組

本計画において、次のとおり新たに3つの推進目標とこれらに基づく各課の取組を定めました。推進目標はこれまでと同様に、世代横断的に取り組むべき目標として設定しています。

基本目標である「夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり」を町民の皆様とともに実現するために推進目標と各課の取組、さらには該当となるSDGsの項目に基づき美幌町の社会教育を推進していきます。

推進目標 1

未来と夢を創る人を育てる

推進目標 2

ふるさとの魅力を受信・発信

推進目標 3

多様性を尊重した学び

該当となる
SDGsの項目



3. 美幌町教育委員会組織機構

(令和3年4月1日現在)

部 局	課 名	グループ名	主な事務・事業
教育委員会			
教育長			
教育部長	学校教育課	総務グループ 学校教育グループ	委員会会議、学校全般、教員住宅、就学、教職員、不登校相談
	学校給食課	学校給食グループ	学校給食全般 センター管理運営
	社会教育課	社会教育グループ 文化振興グループ	各世代を対象とした講座等の実施 青少年の健全育成 芸術文化活動の振興
	スポーツ振興課	スポーツ振興グループ	スポーツの普及振興 体力向上の環境整備
	博物館課	博物館グループ	美幌町の自然、歴史、芸術に関する資料の収集と活用 文化財の調査保護とその普及啓蒙
	図書館課	図書館グループ	図書館の機能強化 きれめのない読書活動の推進

推進目標 1

未来と夢を創る人を育てる

「未来を担う人材」として子どもたちはもちろんのこと、子どもたちを育成・指導する大人たちも重要な役割を担っており、子ども・大人関係なく育んでいく必要があります。

インターネットがあれば世界中の人々と交流ができるようになった昨今、美幌町を元気にしてくれる人たちのみならず、美幌町で生まれ育ったことに誇りを持ちグローバルに活躍する人材を育成していきます。

高度に情報化された現代社会をチャンスととらえ、外部からの刺激を受け個々の成長につなげる。そして自己肯定感※を高めていくことで、「未来と夢を創る人」にあふれた美幌町を目指します。

各課の取組

取組内容	担当課
・親子で体験することをとおして、親と子が自ら学ぶきっかけをつくる取組 ・地域での学びを支える新たなコミュニティの形成を目指す取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
・多くのスポーツに触れる機会をつくり、スポーツを好きになる子どもたちの育成 ・各種スポーツにおける指導者の発掘・育成とスキルアップの支援 ・トップアスリートを目指す子どもたちの育成	スポーツ振興
・美幌町の自然、歴史、芸術に触れる機会を増やすための事業を実施 ・SDGsに係る学習プログラムを提案	博物館
・いつでもだれでも本と触れ合える環境づくり ・国際化のニーズに合わせた情報の提供 ・異文化交流のかけはしとなる場の提供	図書館

※自己肯定感：「ありのままの自分を肯定する、好意的に受け止めることができる感覚」を指す。他人と比較するのではなく、そのままの自分を認め、尊重し自己価値を感じることができる心の状態。

推進目標 2

ふるさとの魅力を受信・発信

美幌町には人・もの・自然など魅力にあふれた資源がたくさんあります。しかし、その場所で生活をしてしまうと本町の持つ魅力に気付かない、あるいは見過ごしてしまいがちになります。

美幌町がどのような町で、どのような資源があるか町民の皆様に再確認してもらうことが必要です。こうした魅力を再確認あるいは発見（＝受信）し、その良さを知ってもらうため、あらゆる機会をとらえて町内外に積極的に発信していくことで本町の良さを多くの人々に知ってもらい、「訪れてみたい！」と思われる美幌町を目指します。

各課の取組

取組内容	担当課
・ 誰もがふるさとの受信者・発信者となれるように、必要な学びの機会をつくる取組 ・ 美幌町の芸術文化を高め、文化活動の裾野を広げていく取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
・ 町民のスポーツにおける活動状況や活躍・指導者の情報を広く発信する取組 ・ 美幌町のアスリートを町民一体となって応援する取組	スポーツ振興
・ 美幌町の自然、歴史、芸術に係る資料を収集 ・ 美幌町の魅力に関する、学習機会の充実 ・ SNS や印刷物などを使った情報発信の充実	博物館
・ 誰でも見やすく探しやすい郷土資料の整備 ・ 美幌町に関わる情報の積極的な収集と発信 ・ 町民が情報を活かす場の提供	図書館

推進目標 3

多様性を尊重した学び

国際化・多様化の流れは私たちの生活のありようを大きく変えていますが、国や年齢、性別の違い、障がいの有無やそれぞれが持つ価値観の相違にとらわれることなく人々の持つ多様性を尊重し、その人の「ありのまま」を受け入れられる美幌町を目指します。

「美幌町に住んでいてよかった」「私の居場所が美幌町にある」と思ってもらえるよう、あらゆる方々に対する学びの機会提供や個々に合わせた必要な援助・サポート等、町民の理解をより一層深めながら、今後ますます進んでいく国際化・多様性の時代へ対応していきます。

各課の取組

取組内容	担当課
・ 多様性のある社会についての学びを広め、互いに認め合う取組 ・ 生まれ育った国や文化の違いを理解し、互いに主役となって学びを広める取組 ・ ニーズに応じた学びを提供する取組	社会教育 (社会教育・文化振興)
・ スポーツを通じて様々な環境にある人々が交流し、つながりあえる取組 ・ 町民のニーズに応じた体力づくりやスポーツ体験の推進 ・ 指導者や活動を支える支援者が多様性について学び、育成する体制の整備	スポーツ振興
・ 異世代が交流し、多様な文化を学ぶ ・ 個々の学びを様々な施設で支援	博物館
・ 町民の活躍の場及び交流の場の提供 ・ 様々な世代への学びの場の提供 ・ 多様な人々が安心して利用できる空間の提供	図書館

4. 本計画の評価方法

策定委員会では、本計画で定める3つの推進目標に基づく「各課の取組」を設定しました。

これを受けて、本計画の推進期間である令和4年度から令和9年度までの間は3つの推進目標がどの程度達成されているか、新たな課題はないかなどについて、社会教育委員による単年度評価を引き続き行っていきます。

具体的には、年度当初の社会教育委員会議において「各課の取組」に基づいた単年度計画を提示し、個別の事業説明に加えて事業実施をとおしてどのような効果を期待するかなどを明らかにします。社会教育委員はこれらの内容を踏まえて、各課の取組状況を確認するための事業視察を行い、本計画の推進状況を年度末に評価します。

年度末においては、単年度計画に対する実績・問題点等を行政内で評価し、この評価をもとに各課にヒアリングを行った上で社会教育委員が客観的に評価します。評価結果は、翌年度以降の事業内容改善の一助としていくとともに、単年度評価をまとめたものを次期となる第9次美幌町社会教育中期計画の基礎資料とします。

(図) 単年度計画・評価例

課名		社会教育課		
推進目標1：未来と夢を創る人を育てる				
令和4年度の重点事業				
取組	事業名	事業内容	ページ	事業番号
各推進目標に該当する事業のうち、単年度重点事業を年度当初に計画で明示。				
反省評価	事業実績に基づき、各課における評価を年度末に行う。(単年度計画に対する実績をA～Eの5段階で評価し、評価の理由を明示する)			